

第4章 市の地理的、社会的特徴

第1節 地形

本市は、大阪府の南部に位置し、北西は大阪湾に面し、南東は和泉山脈の分水界を境界として直接和歌山県に、また北東は貝塚市、熊取町に、南西は田尻町、泉南市に接する。市役所の位置は、東経 135 度 19 分 48 秒、北緯 34 度 24 分 13 秒であり、市域は南北に細長く、面積は 55.05 km²である。

本市は、地形的に北から臨海部、平野部、丘陵部、山地部のほぼ4つの地帯に区分され、臨海部は住宅と工業の混合地域、平野部は住宅と商業の混合地域、丘陵部はまとまった農地とともに住宅と工場の混合地域、山地部は森林地域として利用されている。

第2節 気候

瀬戸内式気候区に属し、穏やかな気候で、年平均気温は16 前後、年平均風速は2.3m/s前後、雨量は年平均1,270mm程度である。(大阪管区气象台平成6年から平成16年調べ)降雨は6月下旬を中心とする梅雨期、台風期を含む秋雨期に集中する。

第3節 人口分布

本市の人口は、昭和61年まで増加してきたが、地価の高騰等の影響を受け減少に転じた。しかし、関西国際空港開港の影響などを受けて平成4年以降は再び増加に転じ、平成12年10月1日現在(国勢調査)では、96,064人、33,663世帯となっている。一世帯当り人員は、平成2年は3.34人であったが、単身者世帯などの増加により、平成12年には2.85人へと減少している。また、高齢化も顕著となり、平成2年の高齢化率(総人口に対する65歳以上人口の割合)は11.0%であったが、平成12年には15.6%に上昇している。昼間人口については、平成12年は102,943人であり、府内他市町村から流入する人口は27,671人、府外から流入する人口は3,404人である。

なお、平成18年3月末日現在の住民基本台帳の人口は、101,243人、39,998世帯、外国人登録者数は785人となっている。

第4節 道路の位置等

本市の主要道路を概観すると、阪神高速湾岸線、阪和自動車道、関西空港自動車道の自動車専用道が整備されている。他、主な一般道としては、国道26号、国道170号、国道481

号、堺阪南線（旧国道26号）、大阪臨海線、土丸栄線などがある。

第5節 鉄道、空港、港湾の位置等

本市の鉄道としては、JR 阪和線・関西空港線、南海本線・空港線があり、大阪と和歌山及び関西国際空港の間を結んでいる。

空港としては関西国際空港がある。関西国際空港は大阪湾に造成した人工島に設けられており、泉佐野市、田尻町、泉南市の2市1町に属し、対岸の本市と連絡橋で結ばれている。

また、港湾としては、地方港湾の泉佐野港、泉州港がある。

第6節 主な施設等

本市の高層建築物としては、りんくうゲートタワービル（高さ254メートル）がある。また、関西国際空港地区の石油コンビナート等特別防災区域があるほか、隣接の熊取町に京都大学原子炉実験所、原子燃料工業株式会社熊取事業所の原子力事業所が立地している。